オカムラ食品工業

株式会社オカムラ食品工業

会社説明

株式会社オカムラ食品工業は、1971年の創業以来、青森県から世界を見据えた水産ビジネスを展開してきたグローバル・フードカンパニーです。同社の最大の特徴は、水産資源の「養殖（つくる）」から「加工（仕立てる）」、そして「卸売（届ける）」までを自社グループで完結させる「垂直統合型」のビジネスモデルにあります。

事業の柱の一つである養殖事業では、国内において青森県の厳しい自然環境を活かした「青森サーモン」のブランド化に成功。淡水での稚魚飼育から海水での成魚育成までを一貫して管理し、高品質かつ鮮度の高いサーモンを提供しています。また、海外においては1980年代という早い時期から進出し、現在は北欧デンマークでのサーモン養殖や、ベトナム・中国での加工拠点を確立。これにより、天候や相場変動の影響を受けやすい水産業界において、安定した供給体制と高い収益性を両立させています。

加工事業においては、創業当時からの主力製品である「いくら」や「筋子」において、国内屈指の加工技術とシェアを誇ります。独自の調味料配合と徹底した品質管理により、一般消費者向けから高級寿司店向けまで幅広いニーズに対応しています。近年では、味付けサーモンやスライス製品など、タイやベトナムといった東南アジア市場での和食需要に合わせた高付加価値商品の開発にも注力しています。

卸売事業では、シンガポール、マレーシア、台湾などアジア諸国を中心に、現地の和食レストランや小売店へ直接販売する自社ルートを保有しています。単に商品を届けるだけでなく、現地のニーズを素早く反映した商品提案を行うことで、「日本発のクオリティ」を世界に浸透させています。

2023年9月には東京証券取引所スタンダード市場への上場を果たしました。これは同社がさらなる成長段階に入ったことを示しており、今後は「世界のタンパク質不足」という社会的課題の解決に向け、サステナブルな養殖技術の確立とグローバル展開を加速させる方針です。青森の地方企業から始まった同社は、現在では「Okamura」ブランドを世界に轟かせる存在へと進化を遂げています。

会社概要

本社所在地
日本

事業内容
サーモンの養殖、水産品の加工・販売（「垂直統合型」のビジネスモデルを展開）

代表取締役
岡村 恒一

設立年
1971年（昭和46年）8月

資本金
1,161百万円（2025年6月末時点）

従業員数
51 - 100人

URL
https://www.okamurashokuhin.co.jp/

オフィス情報

メインオフィス
〒0300912
青森県 青森市 八重田1-6-11